

芸振



大分県芸術文化振興会議

№.101

平成9.9

もくじ

大分県立芸術会館20周年を迎えて	1
県芸術祭開幕行事のねらい	2
〃 中幕行事について	3
〃 閉幕行事について	4
「芸振」No.100号発行記念にあたって	5
新役員紹介	5
加盟芸術文化団体の活動状況紹介	6
平成9年度基金事業一覧表	7
芸振補助事業で開催される行事	7
事務局だより	8

発行人：仲町謙吉 編集人：後藤一郎 (題字：西村春彦)



芸術会館20周年を迎えて

立木 桐子

芸術会館はこの9月で満20歳を迎える事になる。人間で言うなら成人式であり、これから一人前の人間として自他共に認められる訳である。誕生からよちよち歩き、生意気盛り、と人間めいた芸術会館の歴史もここで大きな節目を迎えた事になる。今まで天塩にかけて育てて下さった方々に、ここで改めて感謝を申し上げ度い。美術館と文化ホールを併せ持つこの総合文化施設の功罪はこの20年間問われ続けた課題であるが、延べ利用者500万人と言う実績を思う時、その存在の重みに感動するのは私だけではあるまい。その中にどれだけの素晴らしい出会いがあり、豊かな実りがあったか知る由もないが、ともかく芸術会館が本県の文化の重要な一翼を担って来た事は確かである。

来秋の新県立ホールの開館は我々が等しく待ちわびていた吉報である。これによって大分県の舞台芸術の地図はより明確化されるだろう。20年目にして芸術会館は「芸術」の名にふさわしい脱皮を遂げるだろう。

美術館も地道な努力が実を結び、3000点余の見事な所蔵品を持つに至った。今回、20周年記念として「所蔵作品選」を刊行したが、これは一級品の重厚な手応えに溢れている。今度はこれらの文化財を広く展示し、十全に後世に伝えて行くにふさわしい美術館の設立が待たれるのみである。

20歳の若者が不安に満ちながらも希望を胸に独立の第一歩を踏み出すように、芸術会館も又新しい一歩を歩き始める時が来た。この一歩は21世紀の彼方につながっていると思うといやが上にも胸は高鳴る。今後共、皆様方の温かい御支援と御理解、又厳しい御指導を心から願うものである。



園田ゆかり (県美協会員)

開 幕 行 事 の ね ら い



豊 路 の 華

大分県日本舞踊連盟

会 長 花 柳 笹之丞

今度のテーマは「古典と創作、豊路の華」と題し、「華」とは大分県の舞踊家達の躍動、風情又は県内の四季折々の景色、情緒を高風明媚な華と称した。演目として、

- 1、豊後松竹梅
- 2、豊後の浦
- 3、豊後風流
- 4、豊後の月

「豊後松竹梅」は松と竹はもちろんの事、梅は県花の豊後梅として創作した。

「豊後の浦」は渦まく豊後灘、瀬戸内海に続く海の顔、海辺に生活する人々の様などを長唄「新曲浦島」にのせて表現した。

「豊後風流」は平成6年の大分県芸術祭に創作舞踊として長谷目源太作詞、芳村伊十七作曲、堅田喜三久作調、花柳寿南海振付により県下女性舞踊家達による初の大分県オリジナル舞踊として誕生した。今度は男性舞踊家5名により構成、振付した。

「豊後の月」これは、竹田市岡城の築上以前の戦国時代を少し現わし、次第に平穏な時代をむかえていく様を舞踊で表現し、有名な「荒城の月」と言われるようになった城跡等、なごやかな月とともにフィナーレを飾る。

豊の国にちなんだ物ばかりで、まとめてみた。ご期待、ご声援を地元舞踊家として県下皆様をお願い申し上げます。

開幕

■開催日時／平成9年10月1日(水) 午後6時30分～ ■開催場所／大分県立芸術会館文化ホール

※より多くの方々の入場をおまちしております。



中 幕 行 事 に つ い て



吉 四 六 昇 天

大分県県民オペラ協会

会 長 小 長 久 子

今年、県芸術祭中幕行事として11月2日午後2時より県立芸術会館で「吉四六昇天」を上演する。昭和60年以来久々の芸術祭主催行事である。11月9日、続いて上演する国見町の公演で、このオペラは54回になる。

思えば昭和47年、わが国作曲界の大御所清水脩先生にはじめて出逢い、意気投合、大分に伝わる“吉四六ものがたり”をオペラ化することになった。台本に阪田寛夫先生（芥川賞・芸術院賞・恩賜賞受賞）を紹介され、早速野津町より取材が始まってこのオペラは出来上がった。

“吉四六”に立川清登さん、語り手“お爺さん”には大分合同新聞社・長野正前社長さんが出演下さり、昭和48年10月1日、大分文化会館で初演した。

その後県内、九州各県、日本の都市で上演してきたが、中でも50年には現天皇が皇太子時代、御一家を芝区郵便貯金ホールにお迎えして東京公演を行った。

この公演は「東京公演により、地方オペラの典型的なあり方を示し、日本の地方オペラ進行の大きな契機をもたらした功績」により、第3回の“ウィナーワルトオペラ賞”を団体としてはじめて受賞した。この賞はのちジロー賞と改名、これまで木村俊光、島田祐子、栗林義信はじめ最近の佐藤しのぶに至るまで有名な多くの歌い手、指揮者、作曲者を表彰して25年になる。続いて52年11月第1回の音楽之友社賞、54年11月第1回サントリー地域文化賞最優秀賞を受賞した。

53年には大阪厚生年金会館ホールで上演、56年には中国武漢市、北京市で6回の公演。総勢120名、熱烈歓迎され、中国との友好を深めることができた。今でも交流は続いている。またこのオペラは数々の全国大会、身障者の大会などに上演、野津町の吉四六ランドでの野外オペラも3年続けてきたが、平成3年3月文化庁地域文化振興特別推進事業“豊の国オペラフェスタ”推進事業として大分で行われた国際顔面外科学会議での上演は38ヶ国の人々に深い感動を与えた。

第2作「ペトロ岐部」のイタリア公演も無事終え、“国民文化祭おおいた'98”に向けて第3作「瀧廉太郎」も原嘉寿子台本・作曲により完成した。

今年の中幕行事、プレ国民文化祭協賛行事である「吉四六昇天」上演をばねに頑張っていきたい。

■ 中 幕 ■ 開催日時／平成9年11月2日(日) 午後2時～ ■ 開催場所／大分県立芸術会館文化ホール
※より多くの方々の入場をおまちしています。



閉 幕 行 事 に つ い て



トレモロで奏でるふるさとの調べ

大分マンドリンオーケストラ

会 長 宮 吉 寛

「大分マンドリンオーケストラ」の母体は今から44年前の昭和28年、田村卓夫氏によって結成され、その後関係諸先輩のマンドリン音楽への情熱に支えられて現在に至っている。最近では定演、自主公演のほか各方面からの依頼による演奏など、年間30回を超えるステージを消化しながらマンドリン音楽の普及と、団の維持発展に努めている。今回、閉幕公演のご指名を頂き、気持ちも新たに取り組みたいと思う。昨今の県下音楽界はやや中央依存に傾いているように思われ、地元の創造的音楽活動が待ち望まれている。我々は地元作品の紹介として、昨年秋他界された郷土出身の作曲家滝本利一郎氏のマンドリン合奏曲「古典組曲第一番イ短調」を先ず取り上げたい。実はこの曲は約30年前、亡き福田五彦氏の依頼によって作曲され、一度滝本氏のご勤務先のOBSで「大分マンドリン協会」の演奏で放送されたが、この対位法による労作は、当時の演奏レベルでは消化が少々無理であった。氏の名誉のためにもこの公演を機会に完全な形で演奏し、氏の御霊を慰めると同時に、氏のクラシック面での並々ならぬ力量を改めてご紹介致したい。次に、宇目町に伝承される民話「お地蔵様と姉妹」に基づいた音楽物語を当団で創作したオリジナル作品として発表したい。他に、今年8月、フランスの著名なマンドリン作曲家「マリオ・マチョッキ」の孫娘「フランソワーズ・マチョッキ」ご夫妻が来分され、当団と交流会を持ったことに因んで、「マリオ・マチョッキ作品特集」を1ステージ持つことで、マンドリンファンの皆様のご期待に沿うと同時に、名誉ある芸術祭閉幕公演のご指名にお応え致したい。

閉 幕 ■開催日時／平成9年12月7日(日) 午後6時30分～ ■開催場所／大分県立芸術会館文化ホール

※より多くの方々の入場をおまちしています。





機関紙「芸振」No.100号 発行記念にあたって

特別会員 尾 登 一 信

芸振発足当時、私は社会教育課で、青少年教育を担当していた。

その頃の文化係はわずかに2人、芸術文化担当は係長兼任といったお祖末なもので、とても大分県の文化を云々するような力もなくどちらからといえ、私自身、冷やかに傍観していたといった方が正しいかもしれない。

然し、初代会長の米田貞一先生（故人）の偉大なる人格と抱擁力に、若い鷺尾正昭課長の都会的センスが絡んで、何とか旗上げ公演の「森の歌」合唱が、第1回芸術祭として成功した。私共は同じ職場に居ながら、「ほう、やったじゃないか」といった態度で、認識を新たにされたものである。

その次に関係したのは、学校現場を廻った後、再び文化課長として復帰した時で、芸振の事務局長も兼ねることになった。

この時には組織も少しずつ固まり、何といても財政的基盤を確立せねばと、「文化基金」問題に取り組んだ2年間であった。

そのことに関しては、さまざまな思い出があるが、既に依頼された400字を突破してしまった。又機会があれば、文化基金を含めてその後の芸振と私との関わり合いを書かせてもらえれば幸である。入口だけの思い出になってしまったが……。

新役員（理事）紹介

大分県美術協会書道部会長 西 村 春 齋



国民文化祭開催ののろしがあがった。もはや一村一文化ではない。全県全文化の時である。

芸術は美の創造。政治、経済、教育等々すべてが芸術し合ってこそ意義がある。

21世紀に向けてのスローガンの真ただ中に直面している我々は、豊後の竹さながらに大空を指して素直に力強く伸びていきたいと願っている。

大分県高校文化連盟理事長 河内山 直



8月7日から1週間にわたって、奈良県で第21回全国高等学校総合文化祭が開催された。大分県高文連からも240名の代表が出場し、素晴らしい演技を披露した。

全国高文連の中での本県高文連のレベルは高い。この高校生の持つ力をいかに大分県の芸術文化の発展につなげていくかが、芸振会議理事としての私の使命であると考えている。

大分市教育委員会文化振興課長 野 尻 政 文



来年は、第13回国民文化祭開催の年であり、今年も既にプレ文化祭行事として各種の事業が計画されております。芸術文化振興会議に集う皆さん方の日々の精進の成果を日本中に発信出来る絶好の機会であります。文化祭への参加を通じて芸術文化振興会議が更に大きな華を開かせることが出来るよう、微力ですが全力を尽くします。

加盟芸術文化団体の活動状況紹介



文芸（短歌）『歌帖社』

主 宰 下 郡 峯 生
事務局長 山 本 和可子

歌帖社は歌誌を毎月発行、会員の作品掲載と共に主宰の歌論、散文欄も設けて発表の場としている。「歌帖」の編集企画、並びに歌帖社の年間行事計画は編集委員会、及び編集幹事会で検討される。

最大イベントは夏の歌帖社全国短歌大会で、44回目の今年は236名が作品を応募、豊泉荘の大広間で盛大に開催された。18の賞の他、歌帖社賞・歌帖社新人賞も併せて発表された。夜は下郡主宰の第3歌集「遠景」出版祝賀会が行われ、熊本・長崎からも歌友がかけつけた。その他会員の楽しみは、新年相聞歌会・曲水の宴・耕三郎忌短歌会・一泊吟行旅行（今年は壱岐）・野草吟行会・忘年歌会と年間を通じてめじろ押しである。25支社が各地で月例歌会を開いており、添削制度もあって会員の勉強の場も多い。

短歌を通じて親しく結ばれ、敬愛し合い、人生を温かく和やかに生き甲斐あらしめようとする歌帖社のモットーを大切に活動を続けている。



事務局／〒870 大分市城崎町2丁目5-28 TEL0975-34-3044

演劇『沙羅の会』

代 表 首 藤 順 子
事務局長 平 松 朱 美

歳月の彼方に埋没しようとしているヒロシマ・ナガサキの悲劇を、戦争を知らない世代に語り伝えたいと、立場も世代も違う女たちがグループを結成。以来、7年。7・8月を中心に、被爆者の手記をもとに書かれた朗読劇「この子たちの夏」（地人会脚本）を県下各地で上演している。

今年8月6日は津久見高校、9月は大分市城南小（学童・父兄）で公演。

劇の終りは爆死した子供たちの写真がスクリーンに写し出されるのだが、毎年のことながら出演者たちは、



まだあどけなさの残る中学生・女学生の顔をふりむいて仰ぐ度に臉の裏を熱くし、断ちきられた命の無念さ、土の中からの死者たちの声を語り続けねばの思いに駆られるのである。

読みすすむにつれて潮騒のように伝わってくる涙をこらえる気配や、終演後、小学生からも、ありがとうございますと声をかけられたりすることに励まされて、「また来年もスライドの中のあの子たちに会うために頑張ろう」と思うのである。

来年の8月6日は、佐伯の高校生たちが待っていてくれる。

事務局／〒870 大分市国分新町3-10 TEL0975-49-4575

平成9年度 基金事業一覧表

■芸術自主事業

区分	月 日	時間	鑑賞人員	開催地	会 場	公 演 団 体
ファミリー 芸術劇場	9月14日	14:00～	300人	院 内 町	町文化交流ホール	男 声 合 唱 豊 声 会
学 校 巡 回 公 演	6月7日	10:30～	530人	中 津 市	鶴 居 小 学 校	県 庁 職 員 吹 奏 楽 団
	7月16日	10:40～	100人	臼 杵 市	上 北 小 学 校	大 分 大 学 混 声 合 唱 団
	7月17日	10:30～	100人	臼 杵 市	佐 志 生 小 学 校	大 分 大 学 混 声 合 唱 団
	8月4日	13:30～	240人	姫 島 村	姫 島 小 学 校	大 分 県 人 形 劇 サークル協議会
	8月19～24日	9:00 ～21:00	1000人	山 国 町	コアやまくにシアター	県 美 協 高 山 辰 雄 ジュニア展
	10月4日		350人	挾 間 町	由 布 川 小 学 校	グ ル ー プ U N O
	10月13日	14:00～	210人	久 住 町	久 住 町 中 央 公 民 館	グ ル ー プ U N O
	10月15日	9:30～	80人	津 久 見 市	仙 木 小 学 校 (久保沼小学校)	大 分 県 人 形 劇 サークル協議会
	10月15日	13:30～	50人	津 久 見 市	越 智 小 学 校	大 分 県 人 形 劇 サークル協議会
	10月18日	10:40～	680人	中 津 市	沖 代 小 学 校	県 庁 職 員 吹 奏 楽 団
	11月15日		230人	中 津 市	和 田 小 学 校	県 庁 職 員 吹 奏 楽 団
	10月又は11月		110人	挾 間 町	谷 小 学 校	大 分 県 人 形 劇 サークル協議会
	10月18日	10:00～	280人	中 津 市	今 津 小 学 校	大 分 マンドリンオーケストラ
	12月又は1月		600人	中 津 市	豊 田 小 学 校	女 性 コーラス朝日
文 化 キャラバン	10月22～26日	10:00～	一般 1000人	豊 後 高 田 市	豊 後 高 田 市 公 民 館	県 美 協 写 真 部
	11月23日	10:30～	一般(婦人) 300人	三 光 村	三 光 村 中 央 公 民 館	コ ー ル 銀 河

■海外派遣事業

氏 名	年 齢	推 薦 団 体	職 業	部 門	派 遣 先	期 間	研 究 テー マ
中 山 直 美	48	大 分 県 美 術 協 会	造 形 教 室 主 宰	美 術 (日 本 画)	中 国 (敦 煌)	H9・8・30～9・6 H9・9・15～9・29 23日間	中 国 敦 煌 莫 高 窟 の 壁 画 を 描 いた 画 工 達 の 心

■団体補助事業

平成9年度団体事業補助として大分県歌人クラブ他51団体に交付する。

芸術補助事業で開催される行事

||||| H9. 9～12 |||||

行 事 名	開 催 月 日	会 場	主 催 団 体 名
第26回グループUNOコンサート	9月6日	コンパルホール	グ ル ー プ U N O
第52回九州合唱コンクール	9月14日	大分文化会館	大 分 市 民 合 唱 団 ウィステリアコール
第20回大分県俳画作品展	10月7日～14日	レインボービル	大 分 県 俳 画 協 会
「花の会」ジョイントコンサート	10月9日	コンパルホール	花 の 会
第37回邦楽定期演奏会	10月10日	県 芸 術 会 館	大 分 県 三 曲 協 会
「国際音楽の日」コンサート	10月12日	大分市赤レンガ館	大 分 県 音 楽 団 体 協 議 会
第33回人形劇フェスティバル	10月18日～19日	湯布院公民館	大 分 県 人 形 劇 サークル協議会
第26回佐伯市芸術祭	10月26日～11月23日	佐伯文化会館	佐 伯 市 文 化 振 興 会
第50回高校演劇祭大会	10月30日～11月2日	安心院文化会館	大 分 県 高 等 学 校 文 化 連 盟
第28回国東町総合文化祭	11月1日～2日	国東町センター	国 東 町 文 化 協 会
第34回山香町総合文化祭	11月8日～9日	タウンホール	山 香 町 文 化 協 会
シルバーコンサートNo.4	11月11日	コンパルホール	コ ー ル 銀 河
大分県短歌大会	11月16日	大分文化会館	大 分 県 歌 人 クラブ
第28回吟剣詩舞道大会	11月16日	労働福祉会館	関 心 流 日 本 日 本 興 道 吟 詩 会 大 分 県 支 部
民謡ふるさとのうた	11月16日	県 芸 術 会 館	萬 謡 会
第34回大分県児童文化祭	11月16日	坂の市丹生公民館	大 分 県 児 童 文 化 研 究 会 創 作
第12回創作舞踊公演	11月22日～23日	かんたんクラブ	創 作 舞 踊 研 究 会
第28回玖珠町文化祭	11月22日～23日	玖珠町公民館	玖 珠 町 文 化 協 会
第32回豊光会展	11月27日～30日	県 芸 術 会 館	豊 光 会 社
第7回パッチワークキルトフェスティバル	11月27日～12月2日	トキハ会館	大 分 県 パッチワークキルト協会
現代美術の潮流展	12月2日～7日	県 芸 術 会 館	新 潮 流 の 会
第27回大分県日本画展	12月9日～14日	県 芸 術 会 館	大 分 県 日 本 画 協 会
第23回大分県吹奏楽アンサンブルコンテスト	12月23日	県 芸 術 会 館	大 分 県 吹 奏 楽 連 盟

事務局だより

会費納入についてお願い

平成9年度の会費は、現在団体会費60%・個人会費70%の納入状況です。お忘れの方は是非納入くださるようお願い申し上げます。

平成10年度事業計画書の提出は10月末迄

平成10年度の大分県芸術文化基金事業費補助金交付計画書・県芸術祭主催行事、芸術文化基金事業公演希望調査表・大分県芸術文化基金海外派遣候補者推薦書等の提出期限は10月末です。

題字にニューウェーブ

機関紙「芸振」100号発行を区切りとして新たに「芸振」の題字を西村春斎先生にお願いしました。永い間おつきあいを頂きました堤碓山先生、本当に有難うございました。今回の西村春斎先生も力強さと躍進をかねそなえた力作です。

新 会 員 紹 介

■団体会員

番号	団体名	事務局所在地	代表者氏名及び住所		事務局長氏名及び住所		団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
			氏名	住所	氏名	住所				
音楽 71	ミッツ・ジャズ オーケストラ		川野 修		牧尾信一		楽団による合奏(アンサンブル)の練習を週1、2回、同士の親睦を深め、演奏技術の向上と児童音楽を奨励する。その他で音楽活動を行い、別の団体と交流(協賛)並びに、地域や大学の文化広場に貢献する。	24名	平成5年 7月15日	バンド独自で企業主催するコンサートを各地で開催している。最近では、庄内町の伝統芸能である庄内神楽と共演するなど、積極的に演奏活動を展開している。

■個人会員

番号	氏名	〒	住 所	電 話	番号	氏名	〒	住 所	電 話
221	小袋 丹				223				
222	八坂 俊行				224				

平成9年度 芸振役員・事務局員名簿

■役 員

役職名	氏 名	団 体 名	役職名	氏 名	団 体 名
顧 問	挾 間 正 年		理 事 (団体代表)	河 野 公 記	県美術協会 (写)
	河 野 彰			脇 坂 秀 樹	県美術協会 (美)
	野 崎 哲			山 本 勝 彦	県音楽協会
特別会員	菅 久			恵 藤 美 紀	県民オペラ協会
	大 崎 聡 明			村 上 陽 風	県三曲協会
	尾 登 一 信			上 田 耕 作	県軽音楽連盟
	木 村 成 敏			糸 永 信 義	県吹奏楽連盟
	宮 瀬 香 多 士			齊 藤 銘 壺	日本詩道会
会 長	仲 町 謙 吉			三 苦 勇	萬謡会
副 会 長	脇 正 人			三 浦 彰	県合唱連盟
	中 沢 と お る			花 柳 笹 之 丞	県日本舞踊連盟
	小 長 久 子			伊 坂 香 里	県民踊連盟連合会
	秋 月 陸 男			笠 木 啓 子	県洋舞踊協会
監 事	日 野 正 美			首 藤 悦 爾	県児童文化研究会
	麻 生 和 江			清 末 典 子	県民演劇制作協議会
常 任 理 事	十 時 良		河 内 山 直	県高等学校文化連盟	
	倉 田 紘 文		佐 々 木 均 太 郎	別府大学教授	
	中 野 幸 和		狭 間 久	大分合同新聞特信局理事	
理 事 (団体代表)	佐 藤 真 砂 延	県番傘川柳連合会	豊 田 寛 三	大分大学教授	
	西 村 春 斎	県美術協会 (書)	野 尻 政 文	大分市教育委員会文化振興課長	
			阿 南 高 範	県芸術会館副館長	

■事務局員

役職名	氏 名	団 体 名	役職名	氏 名	団 体 名
事務局長	後 藤 一 郎	県教育庁文化課課長	事務局次長	辛 島 光 義	県音楽協会員
事務局次長	広 田 駿 一	県教育庁文化課参事	事 務 局	河 野 孝 一	県教育庁文化課主幹兼管理係長
	田 原 基 之	県教育庁文化課課長補佐		阿 部 秀 晴	県教育庁文化課補佐兼文化企画係長
	佐 藤 智 信	県芸振会議事務局次長		仲 前 賢 二	県教育長文化課文化企画係主事
	日 名 子 金 一 郎	県美術協会員			